

第5回9月17日（木）

第5回の一流塾は、講師に木村政雄氏（木村政雄の事務所代表、フリープロデューサー）、細谷英二氏（㈱りそなホールディングス取締役兼代表執行役会長）を講師にお迎えしました。

木村氏は『吉本“全国化”戦略に学ぶ企業経営のあり方』と題し、吉本興業のやすし・きよしのマネージャー時代、東京事務所立ち上げ時の秘話等をちりばめたユーモアに富んだ語り口で、現在は「量的拡大」から「質的发展」への変革期にあり、競争のルールが変わったことに気付かなければならない。人間や組織には「賞味期限」があり、それを伸ばすように心掛けなければならない、と説かれました。塾生からは、組織や人の「賞味期限」という言葉には深く考えさせられた、との声が多く寄せられました。

細谷氏は、『混迷の時代に企業人として考えるべきこと』と題し、現在は経営環境が激変する不確実な時代であり、現状維持は最大のリスクになる。量の拡大から質の向上に挑戦する時代となり、モノ中心からお客様の心に訴えるビジネスモデルへの転換が必要との見解を述べられました。また、普通の会社を目指す、ABC経営（あたりまえの事を、馬鹿にしないで、ちゃんとやる）が大事である等、りそな銀行再生時の経営改革のポイントやエピソードを、国鉄改革と対比させながらご紹介頂きました。塾生からは、透徹した経営スタイルを貫かれる姿に大変感銘を受けた、等のコメントがありました。

また、懇親会の特別ゲストとして、小池百合子氏（衆議院議員、元環境大臣・防衛大臣）をお招きし、卓話を伺いました。奇しくも、本日のお二人の講師と同様に、これからは女性の活用（ダイバーシティ・マネジメント）や、ハードからソフト、心に向かうことが必要であるとのコメントがあり、一流の方は環境の変化を同じように感じられているのだなど、塾生一同大いに盛り上がりました。